

科学者委員会 学術体制分科会（第25期・第10回）

議事要旨

1. 日時 令和4年6月30日（木）13:00～15:00
2. 会場 オンライン会議（ZOOM）
3. 出席者  
吉村委員長、橋本副委員長、佐々木幹事、北川幹事、石塚、梶田、小林（武）、中西、菱田、光石、望月、山田、吉田、川名  
（事務局）松室参事官  
（欠席）伊佐、伊藤、小林（傳）、萩田
4. 議事
  - (1) 前回議事要旨の確認
    - ・資料1に基づき、第9回議事要旨について承認した。前回分科会后、追加の意見や修正案の事務局への連絡はなかったとのこと。
  - (2) 論点整理改訂版の審議について
    - ・資料2に基づき、委員長から前回分科会で頂いた意見を反映した改訂部分について説明がなされた。また、全体の文章量の問題もあり、十分に反映できなかった部分もあるとのこと。
    - ・続いて、意見交換を行った。反映できなかった部分については、今後この論点整理をベースに意思の表出を行っていく際に追加できると考えているとのこと。
    - ・外部機関からの支援の必要性に関する部分について、修正案が提案された。
    - ・この論点整理は誰に向けたものかという質問があった。今の段階では特に想定していないが、個人から組織全体、政府までを意識して書かれているとのこと。
    - ・人材育成は重要なポイントとなるため、別項目を立ててもよかったかもしれないとの意見があった。これは今後の意思の表出に活かしていくとのこと。
    - ・会長から、研究インテグリティは極めて重要な課題であり、学術会議でしっかりと議論を行い、科学者目線での考え方を示していきたいとの意見が述べられた。
    - ・本日の意見に従い、若干の修正を行った後、分科会の資料としてホームページに掲載させて頂くことが承認された。修正と掲載のタイミングは委員長に一任する。
  - (3) 今後の進め方
    - ・委員長より、論点整理を世の中になるべく広く伝えることが重要であるため、これをもう少し充実させて見解か報告としてまとめるプロセスを進めたいとの意見が述べられた。続いて、望月委員から、見解や報告としてまとめるプロセスの説明があった。この件に関して、反対意見はなかった。
  - (4) その他
    - ・なし

資料：資料1 第9回議事要旨（案）

資料2 科学者コミュニティからの研究インテグリティに関する論点整理【改訂版（案）】